

創刊!
季刊紙

でいぶり

発行・編集/
天白でいぶり (天白防災助け合いの会)

地域住民の助け合いで、 災害に強い天白区に!



「天白でいぶり」いよいよスタート!

2004年5月頃より、天白区の災害ボランティアコーディネーター、県・市の防災関連講座を受講したメンバーを中心に、様々な特技や経験をもったボランティアが集まり、準備してきた『天白でいぶり』。

その『天白でいぶり』の設立総会が、2004年8月21日に、天白区生涯学習センターにて開催されました。地域住民の方々、天白区役所、天白消防署、天白警察署、天白社会福祉協議会の方々が出席される中、設立趣意書・会則・事業計画・予算・役員案が承認されました。

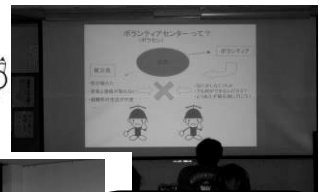


↑ 田中由幸 代表

後半は、東海・東南海地震についての学習会、ボランティアセンターの災害ボランティア受け入れ演習、福井水害の被害・ボランティア活動の報告などを行いました。質疑応答では、参加者も含めいろいろ意見交流ができ、有意義な一日となりました。



↑ 講師 滝川裕康氏



実際に体験してみると、ボランティアセンターの流れがよくわかりました。

「天白でいぶり」とは・・・

1995年1月17日に起こった「阪神・淡路大震災」、2000年9月11日に私たちの住む地を襲った「東海豪雨」など、災害地における復興活動を通し、私たちは、地域住民の助け合いの重要性を改めて感じるとともに、たくさんのボランティアの活躍を目の当たりにしてきました。そして近年、この地方では「東海・東南海大地震」の脅威が叫ばれています。

「天白でいぶり」は、各地の災害の教訓をもとに、それぞれの特技や知識を生かしながら、「災害に強いまちづくり」「住民・ボランティアのネットワークづくり」を目的とした活動をしていこうと設立された団体です。

1. 災害に強いまちづくり
2. 災害時にボランティアをコーディネート
3. 地域・ボランティア・諸機関の
日常からのネットワークづくり
4. その他



具体的には、これらの内容を目的とした勉強会、イベントを催したり、防災訓練、住民同士の交流会といった地域のイベント等に参加・参画していきます。

←マスコットキャラクター でいぶりくん

※「でいぶり」とは、英語の「Disaster PREvention (防災)」を省略した言葉です。